

長崎スコットランド交流塾

スコットランドとの交流を長崎のまちの魅力へ



高比良則安塾長とレイドロウ選手



(レイドロウ選手への感謝状と一緒に)

■ 塾長コメント ■

長崎とスコットランドの交流の歴史は、グラバー邸(グラバー園内)のトーマス・ブレーク・グラバーからはじまり、産業や学術、スポーツなど、現在に至るまでその交流が連綿と続いています。

長崎とスコットランドとの交流を、多くの市民に広く知っていただき、交流の幅を広げることで長崎のまちづくりに貢献ができるのではないかと考えて、長崎スコットランド交流塾を新しい塾として提案しました。

令和4年(2022)5月18日(水)の長崎伝習所の開講式から長崎スコットランド交流塾の活動がスタートしました。

最初は「塾生が集まるのかな?」と心配していましたが、5月の長崎伝習所の開所式では、約20人近くの塾生に集まっていただきました。

■ 塾の目的 ■

ラグビーW杯2019日本大会でラグビーのスコットランド代表チームのキャンプが、長崎市に決定したのも、長崎とスコットランドの交流の歴史が要因の1つとなりました。

長崎キャンプの際も、スコットランド代表チームは、積極的に市民と交流を図っていただき、遠いスコットランドが身近な国(地域)として市民の心に刻まれました。

ラグビーW杯での市民の盛り上がり进行交流のレガシーとして、スポーツだけで終わるのではなく、産業や学術など、幅広い分野でのネットワークへ広げたいとの思いに至りました。

長崎とスコットランドとの交流を長崎の街の魅力に定着できないかと活動を始めました。

■ 塾の研究・活動内容 ■

6月15日(水)の塾生会議(市民会館)で、今年1年の塾の運営方針を協議しました。原則、毎月1回の塾生会議を開催し、ラグビーのスコットランド代表のグレイグ・レイドロウ選手を長崎に招待してのトークイベントの開催、スコットランドの交流をテーマとした講座の開催などを決定しました。

7月27日(水)の塾生会議(市民会館)では、塾生の太田伸二さん(長崎県ラグビーフットボール協会理事)による「長崎とスコットランドラグビー」をテーマに、いかにして長崎誘致が成功したのか、を太田さんの実際の体験をもとに話していただきました。

8月6日(土)の塾生会議では、グラバー園内の旧スチール記念学校を会場に移して、グラバー園の名誉園長のブライアン・バーフガフニさんに講話をしていただきました。

長崎に眠るスコットランド人たちの活躍を

聞くと、遠い昔が思い出させるような気がしました。

9月10日(土)の塾生会議(グラバー園内の旧スチール記念学校)では、スコットランドの大学をはじめ英国の大学と学術交流を深めておられる長崎大学副学長の山本郁夫教授に「ロボットシステム研究と英国スコットランド大学との関わり」をテーマに興味深い話を聞きました。山本教授の水中ロボット研究から長崎市が進むべき未来像が見えてきたような感じがしました。

その後、レイドロー選手の来崎日程が具体化して、塾の活動はその受入れのために協議を重ねました。

10月5日(水)、10月12日(水)、11月2日(水)と塾生会議を続けて、役割分担などを行い、当日に突入しました。

11月17日(木)のトークイベント当日は、出島メッセ長崎の会場にスコットランドの幟や沢山の写真もパネルで展示するなど、スコットランドの雰囲気満載にしました。

ただ、当日にどの程度参加していただけるのかと心配しましたが、何と150人近くの方にご参加いただくことができました。

ご参加いただいた方から「レイドロー選手の神対応に感激」「トークの内容も良く感動」「とても良かった」などの声が寄せられて、遠くは埼玉県や神奈川県、福岡県などからもご参加いただきました。



12月7日(水)の塾生会議から、令和4年度の長崎伝習所まつりへの参加について、協議を重ねることになり、長崎スコットランド交流塾としての取り組み内容が少しずつ決まってきました。

令和5年(2023)1月18日(水)と2月19日(日)の塾生会議は、長崎伝習所まつりに向けた作業分担などを決めました。

2月19日(日)には、塾生からの提案で「ワイワイガヤガヤで作業をしたい。」として、グラバー園の旧スチール記念学校で半日かけての作業を実施しました。

3月18日(土)長崎伝習所まつりの当日です。

■ 塾活動の成果 ■

長崎スコットランド交流塾の大きな成果は、ラグビーのスコットランド代表のレイドロー選手を長崎へ招待することができて、トークイベントに多くの方に参加していただき、その内容も十分満足できるものでした。

次に、7月、8月、9月の3講話も素晴らしく、目からウロコの話もたくさん聞くことができました。

塾生の皆さんの頑張りに感謝で一杯です。

長崎スコットランド交流塾 活動記録

日 時	場 所	内 容
令和 4 年		
6 月 15 日(水)	市民会館会議室	塾の運営方針の決定
7 月 27 日(水)	市民会館 1 階大会議室	塾生「太田伸二さん」の講演会 『長崎とスコットランドラグビー』
8 月 6 日(土)	グラバー園内 旧スチール記念学校	名誉園長「ブライアン・バークガフニさん」講演会 『スコットランドと長崎について』
9 月 10 日(土)	グラバー園内 旧スチール記念学校	長崎大学副学長兼教授「山本郁夫さん」講演会 『スコットランドとの学術交流』
10 月 5 日(水)	市民会館 2 階 第 1 会議室	「レイドロー選手」来崎に伴う計画づくり
10 月 12 日(水)	市民会館 1 階 大会議室	「レイドロー選手」来崎に伴う計画づくり
10 月 18 日(火)	出島メッセ長崎 101	「レイドロー選手」来崎会場との打ち合わせ
11 月 2 日(水)	市民会館 2 階第 1 会議室	「レイドロー選手」とのトーク会についての協議
11 月 17 日(木)	出島メッセ長崎 1F 会議室 101	「レイドロー選手」とのトーク会 「レイドロー選手」と長崎を大いに語る
12 月 7 日(水)	市民会館 2 階 第 1 会議室	長崎スコットランド交流塾の今後の取組打合せ 1.伝習所まつりへの塾としての参加について 2.来年度の長崎スコットランド交流塾の取組方向性について 3.Bar の楽しみ方塾とのコラボ企画について
令和 5 年		
1 月 18 日(水)	市民会館 2 階第 1 会議室	令和 4 年度 長崎伝習所まつりについて
2 月 19 日(日)	グラバー園内 旧スチール記念学校	長崎伝習所まつりの展示資料等作成
3 月 3 日(金)	長崎市観光交流推進室内	長崎伝習所まつりの配布物等確認
3 月 18 日(土)	ベルナード観光通り	長崎伝習所まつりに参加

長崎伝習所 長崎スコットランド交流塾 の活動から見てきたもの・・・

はじめに

英国ニューキャッスルでのプレゼン

平成 27 年(2015)9 月 29 日～10 月 5 日までの間、私は、長崎市での事前キャンプ誘致のために、英国ニューキャッスルへ飛びました。

英国ニューキャッスルで、スコットランドラグビー協会の幹部に対してのプレゼンで、「トーマス・グラバーのご縁を頼って来ました。」と伝えて、長崎市での事前キャンプの実施をお願いしました。

その後、1775 年建築のレストランでランチとなりましたが、スコットランドラグビー協会のマーク・ドットソン CEO は、「長崎市は、150 年以上前のご縁を頼って来たのか・・・」としみじみ感心されていました。

ラグビーのスコットランド代表チームの事前キャンプが長崎市に決定したのも、長崎とスコットランドとの交流の歴史が要因の一つとなりました。

ラグビーW 杯 2019 日本大会の開催

ラグビーW 杯 2019 日本大会は、令和元年(2019)9 月 20 日～11 月 2 日の間、日本のみならず世界中のラグビーファンを熱狂させました。

ラグビーのスコットランド代表が長崎でキャンプを行い、市民との積極的な交流を行ったことで、遠いスコットランドが身近な国(地域)として市民の心に刻まれました。

スコットランドとのラグビー交流をさらに進めようとした矢先に、令和元年(2019)12 月から、新型コロナウイルス感染症が世界中

に猛威を振るい始めたのです。

グレイグ・レイドロウの想い

ラグビーW 杯 2019 日本大会の後、スコットランド元代表のグレイグ・レイドロウ選手は、日本でプレーすることを選択し、「長崎の市民に、直接に感謝の言葉を伝えたい。」と思うようになったそうです。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大のために、レイドロウ選手の想いによる交流はなかなか実現に至りませんでした。

長崎スコットランド交流塾の活動開始

令和 4 年(2022)5 月 18 日(水)に、長崎伝習所の開講式の後、集まった塾生の皆さんに、「レイドロウ選手を招待して、トークイベントを開催したい。」と熱く伝えましたが、正直、実現の可能性は全く不透明でした。

また、長崎とスコットランドとの様々な交流を真剣に考えて入塾された方には、本当に申し訳なく思っています。

塾の 3 講話も充実

長崎スコットランド交流塾では、「長崎とスコットランドラグビー」(長崎県ラグビーフットボール協会の太田伸二理事)、「長崎に眠るスコットランド人」(ブライアン・バーフガフ二名誉園長)、「スコットランドとの学術交流」(山本邦夫長崎大学副学長兼教授)の 3 講話を行いました。本当に目からウロコが落ちる話を聞くことができました。

特に、ブライアン・バーフガフ二名誉園長(グラバー園)から、「スコットランドから、今でもご子孫の方が坂本国際墓地に墓参りに来られます。」と聞くと胸が熱くなりました。



また、山本郁夫教授がスコットランドの大学と海洋開発などの分野を通じて、交流を深められていることを聞いて、長崎市という海洋都市が進むべき未来も少しずつが見えてきた感じがしました。

長崎市では、ラグビーだけでなく色々な分野での交流が連綿と続いていることを知るにつれて、スコットランドとの交流をまちの魅力へ定着させることができないか、その思いは強くなるばかりでした。

レイドローのトークイベント開催

グレイグ・レイドロー選手の来崎日程が本格的に具体化すると、塾の活動も受け入れのための協議を重ねました。

令和4年(2022)11月17日(木)のトークイベント当日には、出島メッセ長崎の101会議室に約150人の方に集まっていただき、大いに盛り上がりました。

レイドロー選手の気さくな人柄とトークイベントでの神的な対応に感激しました。

正直、当日に何人の方に参加していただけるのか、蓋を開けるまで本当に不安でしたが、会場が一杯になった様子を見て、感動で胸が一杯になりました。

トークイベントの開催にあたり、長崎県ラグビーフットボール協会様、株式会社森谷商會様、株式会社ながさき MICE 様、浦安 D-Rocks 様、長崎日英協会、長崎国際観光コンベンション協会をはじめ多くの関係者皆

様のご支援を得て、今回の交流が成功裏に終了することができ、厚く感謝を申し上げます。

クリスマス夜会で

令和4年(2022)12月15日に長崎日米協会と長崎日英協会主催の「クリスマス夜会」において、冒頭に挨拶した大石賢吾知事から「今年は、レイドロー選手を長崎に招待して、トークイベントを開催していただき、交流が実現しました。」とご紹介がありました。

最後の挨拶でも、長崎日英協会の三井一明会長から知事と同様のご紹介がありました。

長崎スコットランド交流塾の取り組みが、周りから少しずつ評価されていると感じると、思わず涙が出そうになりました。

長崎伝習所まつりに参加

私は、当初、長崎伝習所まつりの参加には、若干消極的な気持ちでしたが、長崎伝習所まつりの内容について知れば知るほど、その重要性を感じるようになりました。

長崎伝習所まつりは、塾活動の集大成として、これまでの研究活動の取り組みをしっかりと学び直す良い機会となりました。

併せて、多くの塾生が一丸となって取り組むことで、塾生同士や色々な方との交流も行われたと思います。

来年度の取り組み

人が集まって、交流することで、素晴らしいアイデアが生まれることがあります。

来年度、スコットランドへの想いをどのように表現できるか、どんな形で貢献できるか、乞うご期待です。

長崎とスコットランドとの交流をまちの魅力へ定着させるために、長崎スコットランド交流塾として努力を重ねたいと思います。

■ 塾生の感想 ■

ラグパイプ愛好者として

熊川 武俊

ラグパイプ愛好者として、スコットランドの歴史や文化などについては多少の知識は持っていましたが、さらに深く掘り下げていきたいという気持ちを持って入塾させて頂きました。

この1年は、ロボットシステム研究分野でスコットランドの大学と開発の関わりを持つ山本郁夫先生の講義で、その研究が、海洋再生エネルギー技術開発や海洋ゴミ問題への対処など、多くの分野での応用がなされている旨、具体的な内容を知ることが出来たのは非常に有意義でした。

ブライアン・バークガフ二先生の講義では、トーマス・グラバーや坂本龍馬などに関する事物は、伝説としてではなく、根拠に基づいて事実の検証をしていくことの大切さを学び、研究者としての真摯な姿勢を感じることが出来ました。

また、ラグビーのスコットランド元代表のレイドローさんを招聘し交流するなど、長崎ラグーマン達の実行力に驚かされ、強いラグビー愛とスコットランド愛を感じた1年でもありました。

残念ながら、スコットランドと長崎との関連調査のためのフィールドワークは実施出来ませんでした。これは来年度の宿題としていけば良いのではないかと考えています。

また、塾生の皆さんは、個々にスコットランドの何かに興味があり、その興味に関しては何らかの知識や拘りをお持ちの方も多いのではないかと思います。

今後は、外部講師の招聘、フィールドワークの充実のみならず、塾生の皆さんのお話を聞く機会も作り、それらを塾生の共通知識として発展させ、塾の目的であるスコットランドとの交流に向けて活動していくと良いのではないかと考えています。

長崎県内のラグビー選手を支援する活動から

成末 勲

私は、仕事を通して長崎県ラグビーフットボール協会のご指導のもと、長崎県内の多くのラグビー選手を支援する活動を行ってまいりました。

そのような中、このスコットランド交流塾で、ラグビーのスコットランド元代表のグレイグ・レイドロー選手を招聘し、トークショーを行う企画があることを知りました。

トークショーに合わせて、長崎でラグビーを通じて子供たちと交流会もできないか、また、実現に向けてのお手伝いができないか、と思い入塾させて頂きました。

長崎では、2016年に中学選抜チームがスコットランドへ遠征して交流を深め、その後も、長崎県内が一丸となり、長崎市がラグビーワールドカップ2019日本大会のスコットランド代表チームのキャンプ地になりました。

今回、2022年11月に多くの方のご支援のもと、レイドロー選手の招聘が実現でき、長崎県内外からご来場いただき、盛大なトークイベントが開催することができました。

トークイベント後は、小中高生対象の交流会も実現し、子供たちのラグビーに対する思いも高まったことと思います。

この1年、交流塾では様々な講義が行われましたが、私個人は仕事の都合で参加することができずトークイベント一色の1年でした。

恥ずかしながら、私はスコットランドのことは全くの無知で、講義内容を教えていただき、長崎とスコットランドの関わりがとても深いことを知りました。

来年度は、講義やフィールドワークなどにも積極的に参加し、スコットランドとの交流に向けて活動して行きたいと思っています。

この活動を通じ、長崎とスコットランドとのラグビー交流の架け橋となり、小中高生のスコットランド遠征など実現できればと思います。

トークイベント(再掲)
「レイドロー選手と長崎を大いに語る」



(塾生のウォーカーさん作成のポスター)

11月17日(木)14:40～

グラバーパイプバンドによるバグパイプ演奏
(長崎駅いなさ口)

この日は、少し寒かったのですが、グラバーパイプバンドの皆さんには、頑張って演奏していただきました。



14:45～

レイドロー選手が、長崎駅いなさ口に登場したら、周辺にどよめきが起こりました。

長崎駅からイケメンのレイドロー選手の登場で周辺は興奮に包まれました。



14:20～ 会場の開場

入場受付と長崎県ラグビーフットボール協会のグッズ販売コーナーです。長崎県ラグビーフットボール協会は、長崎タータン柄のマスクを販売しました。受付でプレゼント抽選券の配布も行いました。



14:50～

抽選会のためにサインするレイドロー選手です。森谷商会のラグビー・ボールにも快くサインしていただきました。

浦安 D-Rocks のユニフォームは、サプライズのプレゼントとなりました。



15:05～

高比良塾長の挨拶と浦安 D-Rocks の内山 GM 挨拶です。(急遽、社長の代理でした。)



塾生のウォーカーさんによる、バグパイプの演奏(曲目は、**Flower of Scotland**)

1 人の演奏でしたが、素晴らしかったです。

15:00～

トークイベントの司会者(塾生の田畑さん)

トークイベントのシナリオを作って、自分で司会を担当です。長崎タータン柄のスカーフがとても素敵でした。



15:15～

レイドロー選手の入場(バグパイプ演奏と共に入場)と会場から盛大な拍手です。

レイドロー選手の入場で、会場は大盛り上がりとなりました。



レイドロー選手と対談の様子

質問も急遽変更でしたが、笑顔の

レイドロー選手が印象的です。全ての答えが的確で素晴らしかったです。



15:20～

レイドロー選手とトークイベント、高比良塾長と対談です。レイドロー選手の言葉の一つひとつが“神”対応でした。レイドロー選手の長崎への想いが伝わります。



15:50～

会場の皆さんと質疑応答

難しい質問にもさらりと答えて、さらに好印象を持ちました。



子どもたちも、レイドロー選手に質問し、
神対応の回答に会場も納得です。

子どもたちの様々な質問に優しく、わかり
やすく答えていただきました。



子どもたちに、ラグビーのパスを指導する
レイドロー選手です。このパフォーマンスに
は、会場の人々も感動しました。



16:20～

抽選会で当選した方は、レイドロー選手と
一緒に記念撮影です。

トートバックとネックウォーマー



サイン入りのラグビーボールと
浦安 D-Rocks のユニフォームです。



高比良塾長からレイドロー選手に「感謝状」の贈呈です。レイドロー選手にも喜んでいただき感謝です。



塾生の山口さんから塾生からの手づくりメッセージを送りました。山口さんアイデアの手づくりメッセージも喜んでいただきました。



16:30～

参加者全員で、レイドロー選手を中心に記念撮影です。



レイドロー選手の退場でバグパイプの演奏は、ウォーカーさんです。



トークイベントの参加者全員にマファールのプレゼントです。(中華菓子蘇州林ご提供)



終了後に、レイドロー選手と長崎スコットランド交流塾の塾生との記念撮影です。

レイドロー選手は即座に快諾です。
終了後の塾生の笑顔が素晴らしい！



会場の長崎キャンプ等の写真展
本当はこの写真展も素晴らしかったのです。



デジタルサイネージと舞台の雰囲気
スコットランドのユニフォームなど展示
会場の出島メッセ長崎の対応も素晴らしかった。スコットランドのユニフォームとラグビーボール(両方サイン入り)も展示です。



出島メッセ長崎の入口、長崎県ラグビーフットボール協会の販売ブースです。ポスターも貼っていただきました。



マスコミの報道

○テレビ(ニュース放送)

- ・NBC 長崎放送
- ・NIB 長崎国際テレビ
- ・NCC 長崎文化放送

○新聞

- ・読売新聞

(担当の坂口記者は熱烈なラグビーファン
で告知記事も掲載していただきました。)

- ・長崎新聞
- ・毎日新聞
- ・西日本新聞

長崎スコットランド交流塾

塾 長	高比良 則安		
1	ウォーカー・ジェームズ正良	11	田畑 祐子
2	太田 伸二	12	友田 幸子
3	太田 美樹	13	成末 勲
4	木下 正昭	14	馬場 豊子
5	熊川 武俊	15	原口 英晃
6	佐藤 秀人	16	原田 宏子
7	高山 雄彦	17	藤本 晃生
8	竹下 祐一	18	三藤 義文
9	谷内 正	19	山口 美加
10	谷内 貴代	事務局員	スポーツ振興課 小柳 陸

